

テロリストを探すために送られたんですが、 私たち自身がテロリストだったんです。

スピーキングツアーで来日した

ベテランズフォーピースのお二人

**マイク・ヘインズさん
ローリー・ファニングさん**



←関西学院大学での集まり。左がマイクさん、右がローリーさん。

だいぶ前にベトナム戦争に従軍したアレックス・ネルソンさんの話を掲載したことがあるが、その後アメリカは世界中で戦争をしかけ、一般市民を殺し街を破壊する一方、兵士たちは心に傷を負っていく。さいきんではアフガニスタンやイラク戦争に従軍した元兵士たちがその矛盾に気付き、退役して戦争に反対し平和を求める活動を行っており、沖縄の辺野古や高江でも住民の基地反対の行動に参加している。ここでは11月に来日して各地でスピーキングツアーを行った二人の元兵士と通訳のレイチェルさんのお話から、戦争をするとはどういうことで、日本が同じ過ちを犯さないためにはどうしたらいいかを考えよう。(あ)

●私はローリー・ファニングと申します。私はアフガニスタンに2回派遣された経験があります。

9.11 が起きたとき、私はちょうど大学を卒業したところで学費のローンがたくさん残っていました。また9.11の事件を見てショックを受け、愛国心を煽られて入隊を決意しました。しかし軍に入ると人間以下として扱われます。人間以下だけれど道具よりはましかなという。つまり高価な道具にされたと思えます。

私は陸軍の特殊部隊、レンジャーに入隊しました。一般の軍人とはちがって、遠くまで行って特別な任務をする部隊です。訓練は非常に過酷でした。食べ物も十分にもらえない。睡眠も十分にできない。そういう過酷な訓練を通して逆らわない人間にさせられてしまいます。そしてどんどん好戦的になるよう教育されます。

私は2002年の12月31日に、はじめてアフガニスタンに派遣されました。カブールで見たものはどうしようもないほどの貧困でした。ありとあらゆる建物に大きな穴が空いていました。道にはソ連が残っていた戦車や飛行機の残骸が残っていました。私たちはそこでオサマ・ビンラディンを探せ、あるいは彼を助けた人を探せというのがミッションでした。しかしアフガニスタンの文化や習慣は全く知りませんし教えられませんで

した。もちろん言葉をはさめる人は隊の中に一人もいませんでした。

私たちがやっていたことは、たとえばブリーフケースにたくさんの現金を入れて、街の人たちにお金を見せ、オサマ・ビンラディンやタリバンに関係ある人を知りませんか？情報をくれたらお金をあげますよと話します。するとたいがいのお金はほしいから情報を教えてください。そういう通報を受けると、夜中に押し込むわけ。その家の庭にヘリコプターで降りて、そこの人たちを捕まえるわけです。もちろん弁護士もなしにです。そして捕まえた人には頭から袋をかぶせて特別な刑務所に連れて行きます。しかし実際に尋問してみると、タリバンに関係でもなんでもないんです。たまたま通報した人と仲が悪かったり、いざこざがあったらしいということだけなんです。その結果、通報した人は数十万円のお金をもらい、しかも逮捕された人の土地を自分のものにすることができたわけです。これが私たちのやりかたでした。これが私たちの軍のルールなんです。

9.11のあと、米軍はアフガニスタンやイラクに侵攻してこういった攻撃をしています。それによって100万人もの人が殺されています。その100万人のうち80%の人たちが一般市民です。9.11の攻撃ともテロリストとも全く関係ない人たちが8割なんです。けっきょく私たちがやっていることがもっ

ともっとテロを生み出すことにつながるんだということです。

1980年から2001年までの間に500件の自爆テロがありました。そのうちの10%だけが反米感情によってなされた自爆テロでした。ところが2001年以降現在までに2100件以上の自爆テロがあり、その90%以上が反米感情によるものです。つまり9.11のあと米軍がこうやって外に出かけて攻撃をした結果、以前よりまして危険な状態になったということです。

私たちは自由と民主主義のために戦うんだと子供の頃から言われてましたが、結果的に私たちのやってることは全く反対のことだったわけです。

アメリカは7000億ドルという膨大な金額を軍事費として使っています。これは他の13カ国の軍事費を全部合わせたものよりも上回るのです。これだけの金額を教育や保健、インフラなどに使えば、もっともっといい世の中になったはずなんです。

私はこういった経験がたまらなくなって、隊を抜けるという決心をしました。陸軍のレンジャーで戦争反対で自ら除隊した人は自分が初めてのケースでした。そのためやめるのは非常にたいへんで、6ヶ月間、上司たちに質問されたりしました。軍をやめるのは私の人生の中で一番難しいことでした。でも今考えると、それは私の人生の中で最も意義あ

ることでした。

いま私が何をしてるかという、シカゴにいますが、シカゴには若い人たちが軍に勧誘する人たちがたくさんいるので、いやいやちょっと待って下さいと子ども達を説得することをしてしています。若い人たちはこの国に今まで何があったかほとんど知りません。ベトナム戦争のことや他の国にクーデターを仕掛けたことも知りません。

●みなさんこんにちは。私はマイク・ヘインズと申しまして、2003年、アメリカが最初にイラクに侵攻したときの海兵隊員でした。海兵隊に9年くらい在籍していました。私は海兵隊の中でも特殊部隊にいました。グリーンベレーみたいな存在です。

私がイラクに行った時に何をしたかというと、大量破壊兵器を突き止めるためにものすごい数の襲撃をしたんです。毎日毎日2回から4回、完全武装して押し入り捜査をしました。しかし行った場所の6割くらいはウソの情報によるものだったんです。人の家に突然ばっと押し入っていきます。するとおばあさんがいたとすると、そのおばあさんを壁に押しつけたりするわけです。するとそばにいる5才か6才くらいの女の子がものすごい叫び声をあげるわけです。恐怖におのいてその場でおしっこを漏らしてしまいます。私は女の子の泣き叫ぶ声がずっと脳裏に焼きついていて、今だにそれが聞こえてきます。そして押し入った家に若い男の子がいると捕まえて遠く離れた収容所に連れて行きます。おそらくその子たちはそれきり家に帰れてないんじゃないかと思っています。

つまり私はテロリストを捜すためにイラクに送られたわけですがけれども、実際には自分たちが現地の人々を恐怖に陥れることをしていて、自分たちがテロリストだったんです。そして自分の経験を通して言えることは、すべての戦争というものの自体がテロリズムなんだということです。

けっきょく10年くらいかかってやっと前向きに生きていこうという気持ちになってきました。

やはり戦争というコンセプト自身が古いものであって、もう21世紀ですから、私たちは努力をすれば平和が構築できるんだということを実証していきたいといま考えています。それで平和を構築していくために、私は2つの方法をやっています。1つは技術的なものを駆使して平和的なことをやっていくわけです。(※質疑で出た話して、農業を通じたコミュニティづくりをしたいと話していました)

2つめはアクティビズムです。今こうしてやっているようなことです。

私がまだ海兵隊に入ったばかりの19才の



頃、1995年に1年間沖縄に駐留していました。そして去年からVFPの代表の一人として沖縄を2回訪れています。最近では今年の(2016年)9月にも行き、辺野古と高江で現地の皆さんと一緒に抵抗運動をしました。

19才当時、私が海兵隊員として沖縄に駐留していたころ、上官の言うことだけが私の情報源だったんです。だから私は海兵隊員として沖縄にいて、沖縄の人たちを守ってるんだと教え込まれていました。

でもこの年になって沖縄に行く機会があり、2週間という非常に短い期間でしたが、現地で一緒に活動しながら毎日毎日眼に涙を浮かべながら基地反対運動をやっている人たちから得たことというのは、日本全体の国土の0.6%しかない沖縄に32もの基地があって沖縄本島の20%が基地です。そういう状況で私たちが行っていたことは決して沖縄の人を守っていることではないということを確認しました。

そこでローリーと共に私たちは謝罪をしたいんです。それはまず人類史上最大のテロ攻撃、広島と長崎に原爆を落として多大なる命を奪ったことを心からお詫び申し上げます。また東京大空襲ではニューヨークと同じ規模の都市の51%を完全に破壊してしまい、多くの命を奪いました。それだけではなく日本全国200以上の都市に空襲を行い、この神戸地域での大空襲で1万人もの命を奪ったことを深くお詫びします。

また沖縄の皆さんにも個人的に心よりお詫びします。71年間もずっと米軍が占領しているような状態で、沖縄の人たちが幸せに暮らしたいという想いを阻害してきたことをお詫び申し上げます。

そして私たちローリーとレイチェル(通訳)と3人で来ましたけれど、ベテランズフォーピースを代表してこのような機会を与えて頂いたことを心より感謝します。これからは戦争ではなくて別の形で平和を構築していくために私たちの戦争体験を共有する機会を与えて下さって、心より感謝いたします。

戦争によってどうなったかという、ほんの一握りの人たちがものすごくお金持ちになり、殺しているのは現地のとても貧しい人々たち。で、殺しに行ってるのもアメリカの貧

しい人々たち。そこに何の正当性もないんです。これは自由とか民主主義のためでもなんでもないんです。それが現実です。

そしてこのような戦争に関わってしまったことによって、私たちの中とても大事な部分が失われてしまいました。私たちにいま出来ることは、皆さんにお話すること。自分たちの戦争体験、自分たちが見てきたことをこうやって共有することなんです。

日本は幸運にも平和憲法を持っていて、70年間ずっと戦争を体験してこなかったわけですが、でもイラクに自衛隊が行ってましたね。そこで自殺者が50人くらいあったと聞いています。そしてまた今現在、南スーダンに行ってるわけです。そのことが非常に心配です。

●通訳のレイチェルさんのお話：オバマさんはノーベル平和賞までもらっておきながら、ドローンでものすごいたくさんの人々を殺しているという、このちぐはぐは何なんだろう。せっかく選挙で選んだにもかかわらず、民意を反映しないボスになってしまった。たぶん日本の方もそういう経験をしてられるんじゃないかと思いますが、選挙という民主主義のプロセスを経て選んだリーダーたちが、根幹にある民衆の意志を吸い上げて行動していないので、もう上の人はほっといて民間外交しましょうというのが私たちのやってることなんです。

戦争体験者のおじいちゃんを呼んで話を聞くとか。恥ずかしかったら一対一でいいから、ちょっとビデオを撮らしてもらおうとか。やろうと思えばいろんなことが可能なんです。で、それを日本だけの枠の中から、海外旅行に行った先で何らかの形でアクションをやってみるということはすごく意義のあることだと思います。一人一人のやり方次第ひやってください。

何もしないということは、現政権に加担していることなんです。加担したくないのであれば何かアクションをすることです。

生意気なことを言って、ありがとうございました。

★ 今回のVFP来日ツアーのページ：
<https://www.facebook.com/VFP2016/>

★ 11/15 神戸・元町映画館でのお話の様子をYOUTUBEにアップしてあります。
<https://youtu.be/rxoXIB4EfHw>

★ ベテランズ・フォー・ピース公式サイト
<https://www.veteransforpeace.org/>

★ 11/20 放送の琉球朝日放送の番組「テロリストは僕だった～沖縄・基地建設反対に立ち上がった元米兵たち～」
<http://dai.ly/x52qcts>